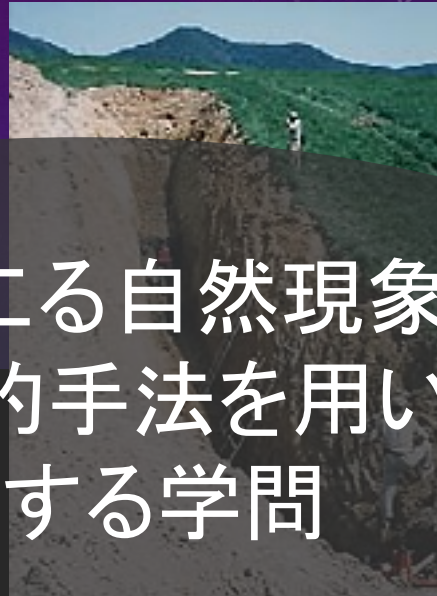
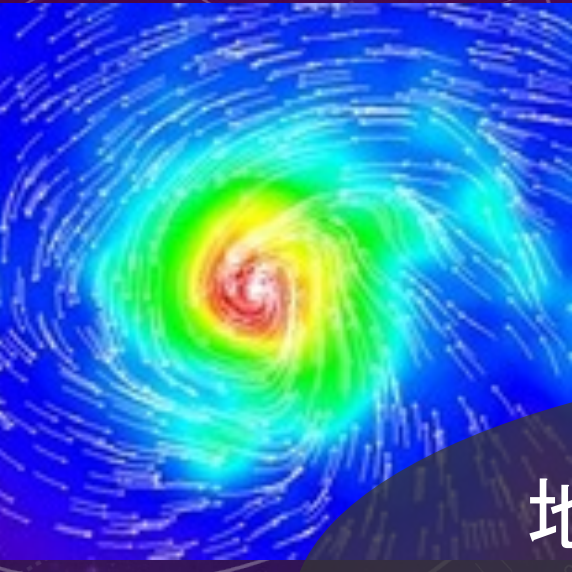
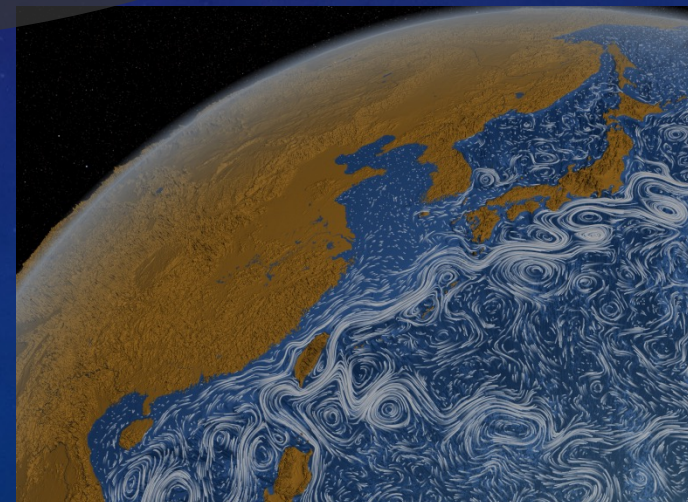
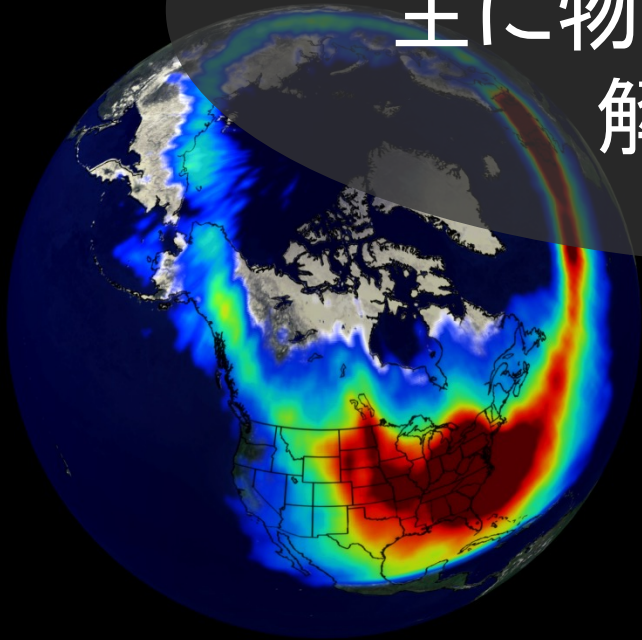


地球物理学 GEOPHYSICS



地球で起こる自然現象を
主に物理的手法を用いて
解明する学問



地球物理学

多様性(複雑), 非線形性, 不確実性...

現象・状態の理解(主にデータ解析)

モデル化, 数理解理解, 予測
(主に理論, シミュレーション, データ同化)

地質学・鉱物学

(実用的な)数学

微積・線形・統計・
微分方程式・
フーリエ解析・
数値計算・
データ科学など

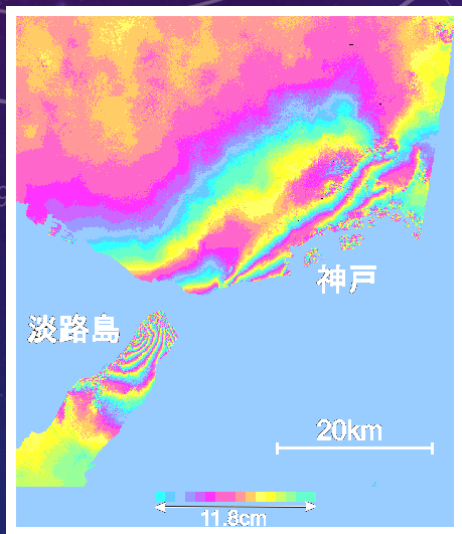
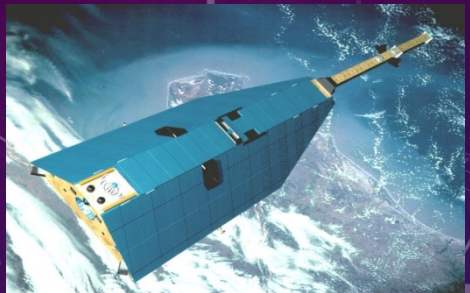
(基礎的な)物理

力学・電磁気・熱・
流体・弾性体
(統計・量子)など

化学

基礎的な**物理**や**数学**の素養が重要!
それが足りなくても**知的好奇心**・**探求心**
と**持続的なやる気**があれば成果を出せる
分野・テーマもある.

地球物理学分野



■地球物理学教室

太陽惑星系電磁気学
講座

(地球電磁気学分野)

大気圏物理学講座

(気象学分野)

(物理気候学分野)

水圏地球物理学講座

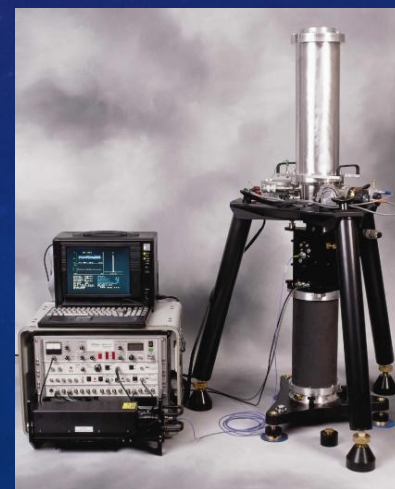
(海洋物理学分野)

固体地球物理学講座

(測地学分野)

(活構造学分野)

(地震学分野)



■附属地球熱学研究施設(別府・阿蘇・京都)

■附属地磁気世界資料解析センター

地球物理学分野担当授業

電磁気圏
流体圏
固体圏

3回生前期(基礎理論・手法Ⅱ)
電離気体電磁力学
地球流体力学
物理気候学
弾性体力学
地球物理学のためのデータ解析法
課題演習DA, DB

物理・数学

基礎
(理論×手法)

3回生後期(専門Ⅰ)
地球電磁気学
気象学Ⅰ
海洋物理学Ⅰ
固体地球物理学A, B
地球物性物理学
課題演習DC, DD

4回生(専門Ⅱ)
太陽地球系物理学
気象学Ⅱ
海洋物理学Ⅱ
陸水学
測地学
活構造学
地震学
地球熱学
火山物理学
課題研究T1-T3

2回生(概論・基礎理論・手法Ⅰ)
地球物理学概論Ⅰ,Ⅱ
地球連続体力学・地球連続体力学からの展開
計算地球物理学・同演習
観測地球物理学・同演習A, B

専門

地球物理学分野 課題演習

	固体	流体・電磁気	
	水3・4	火3・4	
前期	DA	DB	固体, 流体・電磁気の基礎的事項に関して全学問分野を横断的に学ぶ.
後期	DC	DD	固体, 流体・電磁気の各課題からテーマを1つ選択 テーマは基礎から専門応用まで5~10ほど提示される.

前後期ともに, 固体, 流体・電磁気の両方の課題演習を履修することを強く推奨しています.

今回は前期DA・DBの登録です。

後期DC・DDの登録希望調査・調整は6月下旬に行う予定。

Q.12

記述式

地球惑星科学系(地球物理学)を希望する方へ

地球物理学系を希望する理由を簡単に記述してください。(Q.12)

課題演習DA・DBより、第1希望(Q.13)および第2希望(Q.14)を選択してください。(希望ごとの複数・重複選択:不可)

Q.13

プルダウン択一選択

第1希望(択一回答)

選択肢.01 DA 固体地球系(定員24~29)前期

選択肢.02 DB 流体地球系(定員24~29)前期

Q.14

第2希望(第1希望との重複選択:不可, 択一回答)

選択肢.01 DA 固体地球系(定員24~29)前期

選択肢.02 DB 流体地球系(定員24~29)前期

地球物理学

DA, DBの両方の課題演習の履修を希望する場合には, どちらを第1希望にしてもその後の履修には影響はありません.

系登録定員を超えた場合の選考規準

- 地球物理学分野(24名)
履修状況, 単位の取得状況

地球物理学分野の教育研究を知るために



地球物理学ホームページ

<https://www.kugi.kyoto-u.ac.jp/>

教育→学部カリキュラム

今日の資料
もここに置く
予定

- 課題演習（過去のガイダンスや課題の資料）
- 課題研究（過去のガイダンス資料や研究課題）

他に、教員一覧、研究室ホームページへのリンク等